

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部クリーン推進課	■担当係	ごみ減量係
■評価事業名称	ごみ減量化・リサイクル推進事業		
■事業開始年度			
■評価事業コード	030300 - 008	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり	
	■基本施策	02 資源循環型社会の形成	
	■施策	02 ごみの発生抑制	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
■関連計画の名称	北上市環境基本計画、北上市ごみ処理基本計画		
■事業の目的と概要	ごみの減量化及びリサイクルの推進。出前講座等の市民からの要請に応じ、ごみ減量化・リサイクル意識啓発活動を実施。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	ごみ減量化・リサイクル推進事業	市民	・H27年10月に岩手中部の焼却施設が稼働することに伴い、ごみの出し方の変更があるため125全行政区、地区交流センター単位で説明会を実施予定。 ・ごみの出し方変更に伴い市衛連広報や市の広報及びホームページ等により周知を予定。	ごみの出し方変更説明会22地区、ごみの出し方変更広報・HP掲載周知、再商品化されるPETボトル等の分別基準適合物の品質検査を実施

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	55	62	46	42	
人件費	1,810	4,122	921	894	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,865	4,184	967	936	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	家庭系ごみ量	16,913t	16,725t	16,486t	16,501t	家庭から排出されるごみ量
02	出前講座回数	8回	5回	3回	7回	ごみ袋手数料化時にごみの分別、出し方の説明会を実施しており、今年度も回数は減少している。

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

03	リサイクル率	0.227	0.214	0.203	0.194	再資源化の率
----	--------	-------	-------	-------	-------	--------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況 ☐ A. 順調 ☒ B. 概ね順調 ☐ C. 遅れている	達成状況の分析 家庭系ごみ量は、不燃ごみ及び資源ごみの量は減っている中、可燃ごみが増えており、全体的に微増している。ごみの分け方出し方説明会は22箇所で開催し、出前講座は前年の倍以上7回実施した。	問題点・課題等 市民からの申し込みにより、ごみの分け方出しの説明会・講座を実施しているが、北上市居住者に対し幅広くごみの分け方出し方の指導・周知をしていく必要がある。
1. 直接的な受益者の範囲 ☐ 不特定多数に及ぶ ☒ 特定されるが多数に及ぶ ☐ 特定少数に限定される	2. 事業廃止の影響 ☒ 大きな不利益やリスクが生じる ☐ ある程度の不利益やリスクが生じる ☐ 不利益やリスクは小さい	3. 国・県・民間との競合関係の有無 ☒ 類似の事業はない ☐ 類似の事業はあるが競合はない ☐ 類似の事業があり競合する
4. 事業へのニーズの変化 ☒ ニーズが高まっている ☐ ニーズは変わらない ☐ ニーズが低下している又は合致しない	5. 施策の改善需要度(市民意識調査) ☒ 順位が高い ☐ 順位が中程度 ☐ 順位が低い	6. 施策の優先度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い
7. 他市町村に比較しての優位性 ☐ 先進的またはユニークな事業である ☒ 他と同程度の事業である ☐ 遅れている事業である	8. 実施主体の代替性 ☒ 民間委託等の拡充は難しい ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能 ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能	9. 経済性・効率性の向上 ☐ 今以上の効率化や改善は難しい ☒ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ☐ 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策		■今後の方向性 ☐ I. 拡充 ☐ IV. 廃止・休止 ☒ II. 継続 ☐ V. 完了 ☐ III. 縮小